

2024年度

ニチイキッズかなざわ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間 実施方法	2025年1月6日（月）～1月31日（金） 全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日 実施方法	2025年2月20日（木） 話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人ひとりの気持ちに寄り添い、子どもの思いを受けとめながら、アットホームな保育を心がけた。
子どもの発達援助	個々の発達状況を見守り、遊びの内容や環境構成を考え保育していくことで、子どもたちの発達にあった援助をすることが出来た。 一人一人の個性を大切にしていき、主体的に遊び込める保育環境の整備を行った。
保護者に対する支援	保護者様には日ごろの子どもの様子を、日々の連絡帳や送迎時にお知らせし、子どもの成長した姿を詳しく伝えられるように心がけ、ともに共感しあいながら保護者様とのコミュニケーションを深めていくことができた。 ホームページや【てのりの】を配信し、保護者に日々の保育園での様子を知ってもらうことができた。
保育を支える組織的基盤	年間を通して不適切保育に関する話し合いや研修を行なうことで、職員の意識に変化があった。保育指針に基づき「子どもの最善の利益」を大切に考え、保育の見直しやミーティングや園内研修を取り入れながら、保育士の質の向上を目指した。

総評
子どもの発達段階を考え日々の保育計画を立て職員間で話し合い、その都度話し合い、保育環境の整備を行い保育に取り組むことができた。今後も保護者様に日々の子たちの成長する姿を連絡帳や送迎時にお伝えし、ホームページや【てのりの】の配信を通し、共に子どもの育ちを共感し喜びあいながらコミュニケーションを大切にし、さらに信頼関係を深めていけるように取り組んでいきたい。風通しの良い職場環境になるよう、職員それぞれの意見が反映されるようなミーティングを取り入れ、園内研修や外部研修の充実を図り、保育の質の向上を目指していきたい。